

座長・演者・発表者へのご案内

1 座長・演者へのご案内

(1)座長受付

- ・ 当日は、受付にセッション開始1時間前までにお越しいただき、受付を済ませてください。
- ・ 担当セッションの開始10分前までに、会場へお越しください。担当セッションは、予定時間に終了しますようご配慮ください。

(2)演者受付

- ・ 当日は、受付にセッション開始1時間前までにお越しいただき、受付を済ませてください。
- ・ 担当セッションの開始10分前までに、会場でお待ちください。

(3)発表形式

- ・ PCでの発表のみとします。スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間は厳守していただくようお願いいたします。
- ・ 発表機材はPCプレゼンテーション(1面映写)のみといたします。
- ・ 発表データを保存したUSBフラッシュメモリをご持参ください。
- ・ 映像サイズは 16:9 または 4:3 です。16:9 の場合は小さめに投影されます。
- ・ 下記ルールに基づいた標準環境のみをご用意いたします。画面の不具合やデータの不備などにつきましては、すべて演者の責任となりますのでご注意ください。
- ・ 各会場にはWindows10または11、Microsoft PowerPoint2019、解像度 2,304,000ピクセル(画素数:1920×1200)をご準備いたします。
- ・ PowerPointのスライド内に動画を組み込んでいる場合は、稀に音声や動画データが再生されないことがあります。

	Windows	Macintosh
メディア持込	○	×
OS	Windows10または11	—
データ形式	PowerPoint2019	—

(4)進行方法

- ・ PC によるプレゼンテーションは、演台にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用し、演者ご自身での操作をお願いいたします。

<メディア持込の場合の注意点>

- ・ データはUSB フラッシュメモリに保存してお持ちください。
- ・ データ受付では、ウイルスセキュリティを最新に更新し、万全を期しておりますが、ウイルスに定義されていない未知のウイルスに感染する場合がございます。会場システムへのウイルス感染予防のため、事前にメディアのウイルスチェックを行っておいてください。また、可能な限り発表データのみ保存したUSB フラッシュメモリをご持参ください。
- ・ ファイル名は以下のようにしてください。
特別シンポジウム、分科会:「セッション名_演者名」としてください。(例:分科会 I _ 関東

花子)

- ・ OS標準フォント(MSゴシック、MSPゴシック、MS 明朝、MSP明朝、Arial、Times New Roman、Century 等)をご使用ください。
- ・ プレゼンテーションに他のデータ(静止画、動画、グラフ等)をリンクしている場合は、必ずその他のデータも一緒に保存し、作成したPCとは別のPCにて事前動作確認をお願いいたします。
- ・ 動画は、mp4形式のファイルを推奨します。
- ・ お預かりいたしましたデータは、終了後、事務局にて責任を持って消去いたします。

※スライド作成時・発表時の注意事項

- ・ COI(利益相反)による開示をお願いいたします。学術フォーラムホームページに案内のある仕様で 開示報告を行ってください。
- ・ 口頭発表はスライド2枚目(タイトル後)で開示してください。

2 会員発表(口頭) 発表者へのご案内

(1)口頭発表

- ・ 発表5分、質疑応答2分(計7分)をお願いいたします。
- ・ パソコンは主催者側で用意いたします。発表者によるパソコンの持込みはできません。
- ・ 液晶プロジェクターにてPowerPoint(Windows版)を使用できます。

(2)PowerPoint 作成にあたっての注意事項

- ・ Windows版のみの対応とさせていただきます
- ・ Windows 10または11(オペレーティング システム)、Microsoft PowerPoint 2019で起動することをご確認ください。
- ・ 音声並びに動画は使用できません。
- ・ 客席後方からも、会場スクリーンの字が見えるよう字の大きさ(ポイント)にご配慮ください。
- ・ 作成したPowerPointのファイルを事前に頂戴いたしたく、E-Mailにてタイトルに演題番号・演題名を記入の上、2025 年 10 月 30 日(木)正午までに大会事務局担当宛までお送りください。
- ・ また、念のため大会当日もPowerPoint のファイルをUSB フラッシュメモリにコピーし、発表者が持参してください。

(※「Microsoft Windows10」のPowerPoint2019 で起動することをご確認ください)

注) 締切後におけるファイルの訂正、差し替えについては、円滑な大会運営を期するため、予めお断りいたしますのでご承知おきください。

※スライド作成時・発表時の注意事項

- ・ COI(利益相反)による開示をお願いいたします。学術フォーラムホームページに案内のある仕様で 開示報告を行ってください。
- ・ 口頭発表はスライド 2 枚目(タイトル後)で開示してください。

(3)PowerPoint の操作

- ・ 発表の際、舞台上にデスクトップパソコン、マウスが設置されておりますので、スライドの操作

は発表者ご自身(共同研究者を含む)でお願いいたします。

3 会員発表(ポスター) 発表者へのご案内

ポスター受付及びポスター展示会場は、湘南医療大学 2階廊下になります。

(1)ポスター番号

- ・ポスター示説に関しては、通知しました番号(P- ○○)がポスター番号となります。(演題登録番号とお間違いないようお気を付けください)
- ・示説時間は、ポスター番号の奇数・偶数によって異なりますのでご注意ください。

(2)ポスター受付

- ・ポスターの受付・貼付時間は次のとおりです。
- ・発表会場前のポスター受付までお越しください。

【ポスター受付時間】 9:00 ~ 9:30

【ポスター掲示時間】 9:30 ~ 15:30

(3)ポスター貼付

- ・下図のとおり、パネルの左上部にポスター番号が掲示してあります。
- ・該当番号のパネルの右上20cm×70cmの部分に、演題名・所属都県名・所属施設名・所属部署と演者名(含む共同演者、発表者に○印)を記載したものをお貼りください。
- ・発表内容は、パネル下部の横90cm×縦160cmに貼付してください。なお、貼付に際してはポスター 受付に用意してある画鋏をご利用ください。
- ・ポスター撤去時、画鋏はポスター受付にお戻しください。

※ポスター作成時・貼付時の注意事項 COI(利益相反)による開示をお願いいたします。
学術フォーラムホームページに案内のある仕様で図の場所に貼付ください。

(4)ポスター示説・撤去時間

- ・発表者は、該当の示説時間にリボンを付けて、ポスターの前にお立ちください。
- ・撤去時間をお守りください。発表者あるいは同施設の方が撤去し、会場に残さないでください。

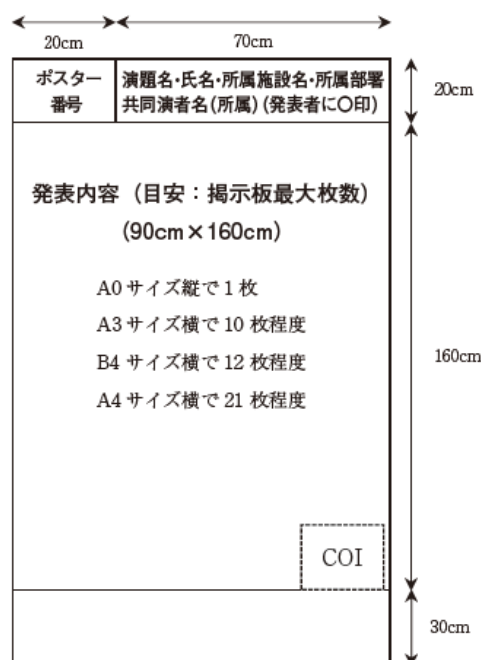
【ポスター示説時間】

奇数番号 11:15~11:35

偶数番号 11:40~12:00

【ポスター撤去時間】15:30~15:50

※撤去時間を過ぎても残っている場合には、事務局にて処分いたします。



- (5)ポスター番号について
 カテゴリー区分は次のとおりです。

【カテゴリー区分】

1	多職種連携・地域医療連携
2	薬の過剰摂取・薬物乱用
3	セルフメディケーション・医薬品管理
4	基礎研究
5	在宅療法支援
6	災害
7	地域支援活動
8	その他

【会員発表一覧】

区分	演題番号	領域	筆頭演者氏名	演題名
口頭発表	0-1	その他	橋爪美萌	再生医療・細胞治療の時代における薬剤師の展望－横浜薬科大学 iPSプロジェクト統括研究室の取組から－
	0-2	基礎研究	新田友香	Amyloid β 誘導のアルツハイマー型認知症モデルにおけるX線照射の影響
	0-3	セルフメディケーション・医薬品管理	宮澤壽成	漢方薬の安全性研究を基盤にした健康サポート薬局発の地域連携型Pharma Living Lab Café構想
	0-4	基礎研究	加藤英明	オピオイド製剤に関わる医療事故およびヒヤリ・ハット事例調査
	0-5	多職種連携・地域医療連携	橋本学	薬局における心不全患者へのSGLT2阻害薬導入率の実態調査－基幹病院とクリニックとの比較－
	0-6	多職種連携・地域医療連携	石田順子	薬を捨ててしまう患者の服薬コンプライアンスどうする？～在宅の場合～
ポスター	P-1	多職種連携・地域医療連携	露木聡史	神奈川県地域連携薬局機能向上事業における藤沢市・横浜市鶴見区での薬薬連携の実践と県内展開への可能性
	P-2	薬の過剰摂取・薬物乱用	和田野歩	学校薬剤師による薬物乱用防止教室を通じた医薬品適正使用教育の実践と評価
	P-3	薬の過剰摂取・薬物乱用	森田育子	医薬品の過剰使用(オーバードーズ)の小・中・高校生用講義資料を用いた薬物乱用防止教育の実践と効果検証
	P-4	薬の過剰摂取・薬物乱用	白子順一	医薬品適正使用啓発動画作成の取り組みと活動報告、今後の展望について
	P-5	その他	市川浩	将来の神奈川県薬剤師会会員の育成 薬学部4年生からの薬剤師会活動への参加
	P-6	その他	小関雄介	SNS等を用いた広報活動(第2報)
	P-7	多職種連携・地域医療連携	鈴木大介	鎌倉市における医薬品供給体制の構築について

区分	演題 番号	領域	筆頭演者氏名	演題名
ポ ス タ ー	P-8	多職種連携・地域 医療連携	服部裕吾	入院時・退院時薬剤管理サマリーに関する薬薬連携研修か らみた入退院連携の実態・課題：アンケート調査
	P-9	多職種連携・地域 医療連携	恵木立	【活動報告】川崎市院外処方プロトコール拡大の現状
	P-10	多職種連携・地域 医療連携	山森麻代花	薬学的視点の均てん化を目的とした薬剤レビュー様式の有 用性―新人薬剤師による薬剤レビュー実践の一例報告
	P-11	多職種連携・地域 医療連携	佐野雅子	薬局薬剤師と訪問看護師の情報交換会実施における地域 薬剤師会の役割と地域医療への貢献
	P-12	薬の過剰摂取・薬 物乱用	荒木由紀	中学校版薬物乱用防止教育横浜型プログラム(大麻編)と 薬の過剰摂取(OD)編を用いた薬物乱用防止教育
	P-13	セルフメディケーシ ョン・医薬品管理	島田顕	在宅患者において抗コリン作用があるOTC医薬品のリス クを回避した一症例
	P-14	セルフメディケーシ ョン・医薬品管理	新津美貴	薬局製剤販売を妨げる要因とその対応策の検討
	P-15	災害	小川明男	災害時における薬局の安否確認支援システム『ひなやく開 局ナビ』の開発と実装
	P-16	災害	岩井俊秀	熊本地震災害(益城町)と能登半島地震災害(能登町)にお けるモバイルファーマシーの活用方法の違い
	P-17	地域支援活動	門垣雪江	「ひと涼み処」事業における薬局の役割 ～行政との協働と 会員アンケートからの振り返り～
	P-18	薬の過剰摂取・薬 物乱用	行方瑛理	エトミデート含有 VAPE「ゾンビタバコ」乱用の実態と健 康・社会的影響の評価
	P-19	基礎研究	石田歩羽	麻薬・抗がん剤ガラスアンプルの破損・薬液飛散を防止する プロテクトシールの開発と性能評価

4 倫理審査について

- ・ 人を対象とする生命科学・医学系研究(疾病の原因、発症、影響の理解、予防、診断、治療行為の改善等)は、次の指針等に基づいた倫理的配慮が必要です。研究計画は、倫理審査会(所属施設または神奈川県薬剤師会倫理審査会等)の倫理審査を経て、承認を得る必要があります。倫理審査会の承認を得た場合は、要旨にその旨を記載してください。
- ・ なお、人を対象とする生命科学・医学系研究以外(業務改善報告、匿名化された既存資料のみを用いる研究、研究的介入のない症例報告等)は、倫理審査会に申請する必要はありませんが、個人情報の保護にご留意ください。
 1. ヘルシンキ宣言(世界医師会)
 2. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省 厚生労働省)
 3. 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン(厚生労働省)

※各指針については、インターネット等でご確認ください。